

2012年12月1日 知多地方教員組合連絡協議会 「図解思考のすすめ～養護教諭がいきいきと働くために」

「今まで私の頭の中は箇条書きばかりだった」と気づきました。これからは図で考えていきたいと思います。

箇条書きを疑って考えていきたいです。

図を描いているだけで、頭の中が整理されました。

小学生に考える力をつけさせるのに、図を使っていきたいと思います。

同じ文章を図解するのに、5人いたら5パターンの図ができ、捉え方が違いに驚いた。セルフマネジメントタイムマネジメントで自分の管理をしたいと思った。

算数の文章題を考えるときに「図に表すことができると解ける」という感触と同じだ！と思いました。

図を使うと、良く整理できると感じます。

考える力が無いと思っていましたが、理解、疑問、反論とステップを踏んでいけばよいということが分かりました。図解の良さを板書で利用して、子供たちの思考を助けたいと思います。

特に支援が必要な児童にも図で示すことが大切であると感じました。

図で書くことは、何度も書いたり、仕事の中で使ったりすることで身に付き、考える力につながると思った。

図解思考というのは、物事の本質をつかむ力ということなのだろう。

今まで聞いたことのないお話で参考になった。

先生の本を読んで、もう少し図について知りたいと思いました。

教育関係ではないお話は、とても新鮮で勉強になりました。養護教諭の仕事を、ちょっと違う視線から考えてみようと思います。

とても楽しかったです。新しい思考法が加わった感じです。

「考える力を養う」ことの大切さを改めて感じました。

「てにをは」は管理職。全くその通り！

図に書こうとしてみても初めて脳が動き出しました。

スクールカウンセラーで図で書きだすことがあります。口に出して伝えられない気持ちを把握することができます。

キーワードをどうとらえるか、組み立てをどうするか、を考えるだけで、問題がすっきりし具体的にどう行動するか理解できると思った。職場の人間関係で悩むことが多いので、図にしてみようと思います。

仕事する者同士の共通理解を図ったり、方針を示すことに役立ちそう。ぜひ取り入れたいです。

以前に著書を読ませていただき、興味を持っておりました。

トレーニング本30を読んで練習したいと思います。